

「ウォッチ」して学ぶ

ヴィンテージ・ウォッチは人生に喜びを与えてくれる。投資リターンも求める場合は落とし穴にご注意。



レベルソ・ジャイロトゥールビヨン2は
373個の部品でできている。
このような時計はオークションで高
値が付く。

デンマークの時計ジャーナリストで時計コレクターでもあるクリスチャン・ハーゲン氏は、それほどたくさんの時計は持っていないと謙遜しますが、そのコレクションは「圧巻」としか言いようがありません。ハーゲン氏は貴重なコレクションを銀行の金庫室に預けていると言います。「銀行に時計を取りに行くたびに、今も子供のような情熱を感じます。コレクションを見るたびに腹の底から力が湧いてきます。」

ハーゲン氏のようなコレクターにとって、時計は時間を見たり目覚ましをかけたりするだけのものではありません。

それなら誰でも持っている携帯電話で事足ります。しかし上質な時計にはスタイルと職人技が備わっています。それはステータス・シンボルであり、会話のきっかけにもなります。また、立派な金融投資の対象にもなります。ヴィンテージ・ウォッチの中でも25年以上前に作られたプレミアム品には相当高い価値が付けられます。2016年初め競売会社ボナムズは1968年物のオメガ・シーマスター300を2万5,000ポンド(3万8,000ドル)で売却しました。2007年にも同じ時計を売却していますが、その価格は1,140ポンドでした。これは例外でも何でもなく、多くの競売会社が

近年のオークションで相当の利益が出ていると発表しています。競売会社クリスティーズの香港オークションハウスの時計部門責任者のフレデリック・ワトルロ氏は、「需要が拡大しているのです。ヴィンテージ品は成熟市場で好まれるものです。最近、少しずつですがアジアや中東からの関心が高まりをみせています。こうした地域では以前は最新式の時計が人気でした」と言います。

しかし、投資は非常に難しいとワトルロ氏は警告します。「自分でしっかりと調査し、誠実な店で買えば、損する可能性は低くなります。利益を得られるかどうかは予測が難しいです。時計は美術品やクラシックカーのようなもので、その価値は欲しい人が多いか、そして希少性で決まります。投資となるとヴィンテージ品に限られます。新品を小売価格で買って、まず利益は得られません。」

フランケンウォッチにご注意

ヴィンテージ・ウォッチの世界に入るのは決して安くはありませんが、必ずしも常軌を逸して高い訳ではありません。望みの品を見つけるにはオークションハウスやヴィンテージ・ウォッチのディーラーから「クロノ24」などの増え続けている信頼できるインターネット上の販売サイトまで様々な経路があります。転売を念頭に置いている場合は、有名ブランドにこだわるべきです。スイス製の時計は品質の代名詞であり、オメガやロレックス、またはより高価なパテック・フィリップは常に需要があります。ハーゲン氏によると「ロレックスやオメガは支払った額に対して最高の品質を持っている時計だと思えます。1,000ドル以上であれば確実に価値のある時計です」と言います。忘れてはならないのは、アフターサービスの価格が時計の価格のゆうに倍はするという点です。

時計投資にはいくつもの障害がありますが、その中の最たるものが偽物や盗品をつかまされるケースです。そこまで行かなくても、部品が入れ替えられた「フランケンウォッチ」の問題もあります。「本物のヴィンテージ・ウォッチは、ストラップを除くすべての部品ができる限りオリジナルでなければなりません。ちょっとした摩耗などは問題がなく、むしろさらに価値があると見るコレクターも多いです」とワトルロ氏は言います。実際、こうした時計の魅力はそれが持つ歴史であり、有名人と関わりがある品だとさらにその魅力は高まります。2012年の競売では、スティーブ・マックイーンが1971年の映画『栄光のル・マン』で使ったタグ・ホイヤー モナコに80万ドル近くの値が付きました。

しかし、それもパテック・フィリップのスーパーコンプリケーションの前には霞んでしまいます。この時計は2014年末、ジュネーブで2,400万ドル相当で売却され、史上最も高い時計となりました。希少性と状態の良さに加え、複雑な作りは機械式時計の価値の最大の決め手となります。クロノグラフや時間帯機能など作りが複雑であればあるほど設計や製作の難易度が上がります。1920年代に米国の銀行家ヘンリー・グレーブス氏のために製作されたスーパーコンプリケーションには900種類の部品が使われ、日の出・日の入り時刻やニューヨークの夜空の天球図も含む24の機能が備わっています。

惚れ込むことが大切

投資となると、パテック・フィリップが最も大きな利益を得られるブランドの一つですが、投資家は自分が情熱を傾けられ、自分でも所有したいと思うブランドを見つけるべきです。結局、自分では使わない高価な時計を買うのは大金持ちだけです。ハーゲン氏は、「私は自分の時計を陳列棚にしまいっぱなしにしておきたくはありません。それは美人のガールフレンドを家から出させず、手も触れられないのと同じです」と言います。時計のコレクションでわくわくすることの一つは、多くの投資形態と同じくポートフォリオを構築し、売買のタイミングを学び、新たなブランドを発掘し、様々な味を出すことです。「初めて集めたのはロレックスです。20代後半に最初はパネライを見始めたのですが、そのうちパネライ2つを買うお金があれば前から欲しかったパテック・フィリップのノーチラスを買えると気付きました。そんな時、A.ランゲ&ゾーネに出会ったのです。このメーカーは世界で最高品質の時計を作っていると思います。私はこの時計に惚れ込んでいます」とハーゲン氏はかつてを思い返します。

活況を呈する時計市場ですが、大多数の投資家を動かすのは結局利益目当てではなく、この情念なのです。多くの時計は決して売られることなく、何十年にもわたって大切に扱って子供や孫に引き継ぐのです。最後にハーゲン氏のアドバイスです。「もちろん、買える範囲内で買うべきですが、心から気に入って惚れ込んだ品を買うことが重要です。何よりも、それを見つめている時に時間を忘れさせてくれる時計を買うべきです。」

【ご留意事項】

- 本資料は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン(以下、当社)のグループ会社であるAllianz SEが作成したProject Mを当社が翻訳したものです。本資料の取り扱いには御社内限りでお願いいたします。
- 本資料は、金融について情報を提供するものであり、当社の戦略等の勧誘を行うものではありません
- 本資料の内容には正確を期していますが、必ずしもその完全性をAllianz SE及び当社が保証するものではありません
- 本資料には将来の市場の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における当社またはAllianz SEの見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません
- 本資料に記載されている内容は既に変更されている場合があります、また、予告なく変更される場合があります
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください
- 本資料には、当社がAllianz SEから対外秘扱いで入手した情報が含まれていますので、Allianz SEまたは当社の事前の承諾なく第三者に開示すること、当該資料の一部または全部の使用、複製、転用、配布等をご遠慮ください

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第424号

一般社団法人日本投資顧問業協会 加入

一般社団法人投資信託協会 加入